

授業概要

科目名		病理学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期		1年	後期
【授業の目的・ねらい】											
病理学とは、病気を理解するための基礎となる学問である。病気の診断や治療の基本となる学問であり、治療に携わる機会の多い臨床工学技士には必須である。様々な疾患の原因と生体の変化を知ることによって病気の本態を理解することを目的とする。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】											
生体を構成する様々な要素別に、異常な状態とその原因について解説する。細胞や組織の基本病変について解説し、より深い病気の症状理解へ導く。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】											
①各種障害について理解し疾患との関連を説明することができる ②系統別の代表的疾患について理解することができる											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	授業ガイダンス、細胞の構造と機能を学ぶ										
2	細胞傷害と細胞死について学ぶ										
3	組織の再生と創傷治癒について理解する										
4	うっ血、充血等の局所循環障害について理解する										
5	出血、血栓、塞栓症と梗塞の概念を理解する										
6	全身性の循環障害について学ぶ										
7	炎症とは何か、炎症と全身反応について学ぶ										
8	中間テスト										
9	病原体と感染の種類について学ぶ										
10	感染経路と感染対策の基礎を理解する										
11	各種免疫機構と生体防御反応について学ぶ										
12	アレルギー反応と免疫の関係について学ぶ										
13	遺伝・遺伝子と遺伝性疾患について整理する										
14	腫瘍の概念と転移について学ぶ										
15	代謝異常と関連する病態について学ぶ										
	定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】											
・ シンプル病理学改訂第7版、笹野公伸ほか、南江堂 ・ 系統看護学講座別巻 医学概論、日野原重明、医学書院 ・ 臨床工学技士標準テキスト第3版、小野哲章ほか、金原出版株式会社											
【準備学習・時間外学習】											
・ 事前学習として教科書の当該箇所を読み込んで講義に臨むこと ・ 理解度向上のため、講義後はノートまとめを行い、要点を整理すること											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】											
試験の結果を100点満点として成績を評価する 中間テストを40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する											